

事業番号	05 08 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	ワクチン接種体制整備事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課	
		実施期間	R3 ~	E-mail	corona-vaccine @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

新型コロナウイルス感染症については、変異株の発生等により依然として収束していないため、ワクチン接種を希望する全ての県民が接種を受けられる体制を引き続き構築する必要がある。

2 事業目的

- ・接種を希望する県民が安心して安全に接種を受けられる体制を整備する。
- ・市町村規模の差が大きい本県の特性を踏まえた上で、地域間で接種の進行を競い合うことなく、かつ、大きな遅れが固定化する地域を生じさせない。

3 事業目的を達成するための取組

① 市町村の補完及び支援

- ・市町村の接種体制を補完するため、県が運営する集団接種会場を県内各圏域に設置する。
- ・接種業務に従事する医療従事者の確保が困難な市町村を支援するため、市町村の接種会場に医療従事者を派遣する。
- ・市町村の負担の軽減につながる職域接種を実施する中小企業や大学等に、補助金を支給する。

② 接種に協力する診療所・病院に対する支援

- ・個別接種に協力する医療機関（病院・診療所）に、期間当たりの接種回数に応じた協力金を支給する。
- ・時間外又は休日に市町村の集団接種会場に医療従事者を派遣した医療機関に、補助金を支給する。

③ 県民が安心して安全に接種を受けられるための取組み

- ・安心してワクチン接種を受けられるよう、ワクチン接種に関する相談窓口を設置する。
- ・接種後の副反応に係る相談や専門的な医療的対応を受け入れられるよう、医療機関と協力し相談及び診療体制を整備する。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	希望する全ての県民が新型コロナワクチン接種を受けられる体制の継続期間	月	12	12	→	12	→	6	達成	県民の健康を守るために、接種を希望する県民が安心して安全に、滞りなく接種を受けられる体制を維持する必要があるため。（※令和5年3月末までとされている予防接種法の臨時接種対象期間が同年9月末まで延長される想定としている）	
②	市町村の接種会場への医療従事者派遣要望の充足率	%	100	100	→	100	→	100	達成	全県で滞りなく接種を進めるためには、予防接種の実施主体である市町村の接種体制を整えることが重要であるため。	
③	副反応に係る2次、3次的な相談や専門的な医療的対応の受入医療機関数	機関	17	17	→	17	→	17	達成	県民が安心して接種を受けられる体制を整備するとともに、接種を行う医療機関のバックアップとして、副反応に対応可能な医療機関を各圏域に必要数整えておく必要があるため。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築											

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R5年度	0	2,071,227	△ 1,183,178	888,049	799,559	887,299	13.0
R4年度	0	2,618,813	178,017	2,796,830	0	2,215,772	13.0
R3年度	0	0	6,665,979	6,665,979	0	4,310,970	13.0

事業番号	05 08 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	ワクチン接種体制整備事業		部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課

7 主な取組実績と成果

<p>① 市町村の補完及び支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団接種から個別接種への移行を図るため、県では集団接種会場を設置しなかった。一方で中山間地など医療資源が限られる地域等を抱える市町村の接種を補完するため県接種会場からの出張接種「ワクチンキャラバン隊」を実施し、延べ8会場、936人に接種。 ・また、接種医を確保できない高齢者施設等へ県接種会場からの巡回接種を実施し、延べ28施設、814人に接種。 ・接種業務に従事する医療従事者の確保が困難な市町村を支援するため、市町村の接種会場へ医師のべ20人、看護師延べ15人を派遣。 ・職域接種については、国の制度終了に伴い、県においても事業を終了。 <p>② 接種に協力する診療所・病院に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別接種に協力する医療機関（病院・診療所）に、期間当たりの接種回数に応じた協力金を支給する予定であったが、国が当該事業の実施主体を都道府県から市町村へ移管したことに伴い、県においては事業を終了。 ・時間外又は休日に市町村の集団接種会場に医療従事者を派遣した医療機関に、補助金を支給する予定であったが、国の制度終了に伴い、県においても事業を終了。 <p>③ 県民が安心して安全に接種を受けられるための取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心してワクチン接種が受けられるよう、ワクチン接種に関する相談窓口を設置し、3,414件の相談に対応。 ・接種後の副反応に係る相談や専門的な医療的対応を受け入れられるよう、医療機関と協力し相談及び診療体制について、県内全10圏域に計17医療機関を整備。
--

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	希望する全ての県民が新型コロナワクチン接種を受けられる体制の継続期間	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
<p>県接種会場からの出張接種や市町村接種会場への医療従事者の派遣など、市町村の補完・支援を行うとともに、本県の接種方針を全市町村と共有し、従来の集団接種中心から定期接種化を見据えた個別接種への移行を進めつつ、広域的な接種医療機関を確保し、接種が終了する3月末まで接種体制を継続することができた。また、年末には全国4位の高齢者接種率を達成することができた。</p>							
指標②	市町村の接種会場への医療従事者派遣要望の充足率	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
<p>引き続きワクチン接種支援チームの体制を維持することにより医療従事者を確保し、全ての要望に対して派遣することができた。</p>							
指標③	副反応に係る2次、3次的な相談や専門的な医療的対応の受入医療機関数	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
<p>安心してワクチン接種が受けられるよう、ワクチン接種に関する相談窓口を設置し、県民からのワクチン接種前後の専門的相談に対応するとともに、引き続き関係医療機関の協力を得ながら副反応に対する診療体制を整備することができた。</p>							

9 今後の事業の方向性

<p>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチン接種がこれまでの全額公費による特例臨時接種から、秋冬に市町村が実施する定期接種へ移行したことに伴い、県における接種の実施は昨年度で終了。 ・一方で、これまでの臨時接種では、住民からの専門的な接種に関する相談への対応は、市町村ではなく県で一括してコールセンターを設置し、対応していたことから、令和6年度の定期接種実施時における相談体制について検討が必要。
<p>(2) 事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の方針や財政支援を踏まえ、高齢者等定期接種対象者となる県民が安心して接種を受け重症化リスクを減らすことができるよう、県において定期接種実施期間に専門的相談に対応するコールセンターの設置について検討を行う。

事業番号	05 08 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	ワクチン接種体制整備事業		部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	新型コロナウイルスワクチン県接種会場設置事業		858,851 千円	966,344 千円	2,071 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県接種会場の設置・運営	委託	市町村の接種体制を補完するため、委託により集団接種会場を県内各圏域に設置して運営（10会場）予定であったが、集団接種から個別接種への移行を図ることとしたことから、実施形態を県会場からの出張・キャラバン接種に絞って実施。 ・巡回接種：814人、28施設 キャラバン：936人、8会場		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	時間外・休日のワクチン接種会場への医療従事者派遣事業		37,510 千円	4,288 千円	— 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	集団接種会場に対する医療従事者の派遣費用補助	補助金	時間外又は休日に市町村の集団接種会場に医療従事者を派遣した医療機関に、補助金を支給する予定であったが、制度終了により事業を実施せず。 —		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業		3,252,575 千円	1,100,662 千円	— 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	医療機関への協力金の支給	直接	個別接種に協力する医療機関（病院・診療所）に、期間当たりの接種回数に応じた協力金を支給する予定であったが、当該事業の実施主体が市町村へ移行されたことにより、事業を実施せず。 —		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	新型コロナウイルスワクチン職域接種事業		30,168 千円	8,220 千円	— 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	中小企業や大学等が実施する接種の経費を補助	補助金	ワクチン接種に関する市町村の負担を軽減し、接種を加速するため、中小企業や大学等が実施する接種の経費を実費補助する予定であったが、制度終了により事業を実施せず。 —		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	新型コロナワクチン接種アドバイザーチーム設置事業	— 千円	294 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	専門家から助言・指導を受けられる体制整備	直接	医師5名程度によるアドバイザーチームを設置し、接種に関する助言・指導をいただく予定であったが、実施の機会がなかった。 —	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	新型コロナウイルスワクチン副反応診療体制整備事業	131,866 千円	135,964 千円	85,669 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	副反応診療の二次及び三次対応体制の整備	委託	ワクチン接種後、接種医がさらなる医療的対応が必要と認めた場合の二次対応及び三次対応の受入体制を整備。 17医療機関（各圏域1か所以上）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等国庫返還金	— 千円	— 千円	799,559 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	国庫返還金	直接	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金及びワクチン接種体制確保事業費国庫補助金の実績の確定に伴い、実績超過分を返還。 —	